

KCOG 婦人科グループ 平成 28 年度活動報告書

1. 臨床試験

1.1. 進行中の臨床試験・調査研究

① KCOG-G1303

『進行・再発子宮体癌に対する ddTC 療法(臨床第 II 相試験)』

(主任研究者: 関西ろうさい病院 堀謙輔)

② KCOG-G1501s

『子宮体部原発神経内分泌腫瘍に対する治療法・予後についての後方視的研究』

(主任研究者: 大分大学 松本治伸)

③ KCOG-G1502s

『卵巢神経内分泌腫瘍の病理組織学的細分類と臨床予後への影響に関する後方視的研究』

(主任研究者: 大分大学 甲斐健太郎、奈須家栄)

④ KCOG-G1601

『初回再発・再燃卵巢明細胞癌に対する Gem+Cis+Bmab 療法の Phase II 試験』

(主任研究者: 関西ろうさい病院 伊藤公彦、中川美生)

1.2. 平成 28 年度に終了した臨床試験・調査研究

① KCOG-G1002

『子宮頸部上皮内腫瘍(CIN3)に対する円錐切除術後のヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンによる HPV 再感染予防に関する検討』

(主任研究者: 三重大 田畑務)

② OGSK_KCOG-G1201

『子宮頸がん Ib2 期・II 期を対象としたイリノテカン塩酸塩水和物+ネダプラチンによる術前補助化学療法+根治手術+術後補助化学療法—臨床第 II 相試験—』

(主任研究者: 京都府立医大 森泰輔)

③ KCOG-G1401

『中リスク群および高リスク群の子宮体がんに対する、術後補助療法の様式が予後に与える影響に関する多施設後方視的研究』

(主任研究者: 三重大 田畑務)

④ KCOG-G1304

『Taxan 使用歴のある末梢神経障害患者に対するラフチジンとプレガバリンの randomized phase II study』

(主任研究者: 東京女子医大東医療センター 長野浩明)

2. 平成 28 年度業績

2.1. 英論文原著

Makino H, Nishio S, Tsubamoto H, Shimada M, Nishikawa R, Kai K, Ito K, Mizuno T, Ushijima K, Morishige K.

Treatment and prognosis of bone metastasis from cervical cancer (KCOG-G1202s).

J Obstet Gynaecol Res. 2016 Jun;42(6):701-706.

Itani Y, Arakawa A, Tsubamoto H, Ito K, Nishikawa R, Inoue K, Yamamoto S, Miyagi Y, Hori K, Furukawa N.

Validation of the distress and impact thermometer and the changes of mood during the first 6 months of treatment in gynecological cancer patients: a Kansai Clinical Oncology Group (KCOG)-G1103 prospective study.

Arch Gynecol Obstet 2016. 11; 294(6): 1273-1281.

2.2. 国際学会・講演会

なし

2.3. 国内学会・講演会

Itani Y, Arakawa A, Tsubamoto H, Ito K, Nishikawa R, Shichido S, Miyagi Y, Furukawa N, Inoue K.

Mental mood of gynecologic cancer patients assessed by distress and impact thermometer (DIT) and hospital anxiety and depression scale (HADS): KCOG-G1103 study.

第 68 回日本産科婦人科学会 東京 2016 年 4 月 21-24 日 (ポスター)

安部正和、平嶋泰之、武隈宗孝、高橋伸卓、田中 晶、市川義一、糸永由衣、平川東望子、奈須家栄、下地香乃子、村上淳子、伊藤公彦

シスプラチンを含む高度催吐性化学療法に対する化学療法誘発性悪心・嘔吐に対する標準制吐療法+オランザピン併用の有効性・安全性の検討:前向き第2相試験

第 68 回日本産科婦人科学会 東京 2016 年 4 月 21-24 日 (ポスター)

【ワークショップ 2 婦人科希少疾患の治療:成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化について】

杉浦 敦、井谷嘉男、荒川敦志、伊東史学、井上佳代、小貫麻美子、庄子忠宏、竹井裕二、竹原和宏、田畑 務、長野浩昭、中村俊昭、棟方 哲、山田隆司、古川直人、喜多恒和、伊藤公彦

卵巣成熟奇形腫の悪性転化に対する治療法・予後についての後方視的研究 (KCOG-G1305s study)

第 58 回日本婦人科腫瘍学会 松江 2016 年 7 月 8-10 日 (口演)

【クリニカルセミナー】

Yulan Ren, Takaya Shiozaki

Clinical trials of adjuvant therapy for endometrial cancer -collaboration between FUSCC and KCOG

第13回日本婦人科がん会議 志摩 2016年9月30日-10月1日

3. 総会ならびに分科会開催

- 平成28年5月14日(土) 15時-17時 (AP大阪梅田茶屋町 8階 Fルーム)
分科会ならびにミニレクチャー
『臨床試験の実施に必要な生物統計学』
(講師:大分大学医学部 佐藤弘樹先生)
- 平成28年7月2日(土) 13時-17時 (O-DEC 会議室)
夏季総会、特別講演会ならびに分科会
『婦人科領域腫瘍/疾患の現状』
第1部:WHO分類改訂がもたらした理論と実践
第2部:当センターにおける転移性肺腫瘍の紹介』
(講師:埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 安田政実先生)
- 平成28年9月16日(金) 19時-21時(キャンパスプラザ京都 第一演習室)
分科会ならびにミニレクチャー
『ASCO2016 報告』
(講師:三重大学医学部附属病院 産科婦人科 吉田健太先生)
- 平成28年11月4日(金) 19時-21時 (O-DEC 会議室)
分科会ならびに第13回日本婦人科がん会議の報告
『ディベート・セミナーのエッセンス』
(講師:市立四日市病院 産婦人科 本橋卓先生)
- 平成28年12月10日(土) 15時-16時30分 (AP大阪駅前梅田1丁目)
分科会
- 平成29年1月21日(土) 13時-17時 (O-DEC 会議室)
冬季総会、特別講演ならびに分科会
『免疫力を活用した近未来のがん治療』

(講師:関西医科大学 内科学第一講座 准教授 伊藤量基先生)

IGCS 報告 静岡がんセンター 高橋伸卓先生

- 平成 29 年 3 月 10 日(金) 19 時-21 時 (科研製薬株式会社大阪支店会議室)
分科会ならびにミニレクチャー
『誰でもできるリンパ節郭清』
(講師:関西ろうさい病院 産婦人科 伊藤公彦先生)